

協働パイロット事業 (H26) 企画提案書

団体名：地域コラボプロジェクト

1. 事業の名称

草薙 wonderfool カレンダー

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

私たち「地域コラボプロジェクト」は、大学生の有志メンバーによる「誰もがそれぞれの立場を超えて、関わり、刺激し合うことができ、活気や学びが生まれる魅力的な地域、草薙」をビジョンに掲げ「学生と地域の人々がつながるきっかけと、お互いに共有し合える関係を作る」ための活動をしています。

具体的には、「つながるくさなぎ」という草薙地域における広報紙の作成、「草薙マルシェ」などの草薙地域におけるイベントの参加、その他、学生が草薙地域でイベントを起こそうとする際の手伝いなどです。学生と商店をつなげるような活動でした。

しかしながら、今の活動だけでは草薙の魅力を十分に地域住民(学生)に届けていられない。草薙の地域資源についてももっとフォーカスをあてて情報発信をしてもいいのではないかと。実際、商店やイベントの情報発信をする取り組みはこれまでも容易でしたが、散策ツアーのように限られた手段しかない自然の情報発信はなかなか広まりませんでした。大きい事業ができれば、確かにそのような目的は達成できなくはないですが、私たちの団体だけではどうしても実現性を持たせることができませんでした。

また、私たちは草薙地域の中で活動を続けてくる中で、市民の中にある「大学生が何をやっているのか知りたい」「大学生がもっとまちに関わってくれれば盛り上がるのに」という声にも気づきました。

このような状況を踏まえて、私たちは地域住民(学生)が地域資源に対して関わる機会を増やし、その魅力を広報するための協働事業として

「草薙 wonderfool カレンダー」

を提案させていただきます。

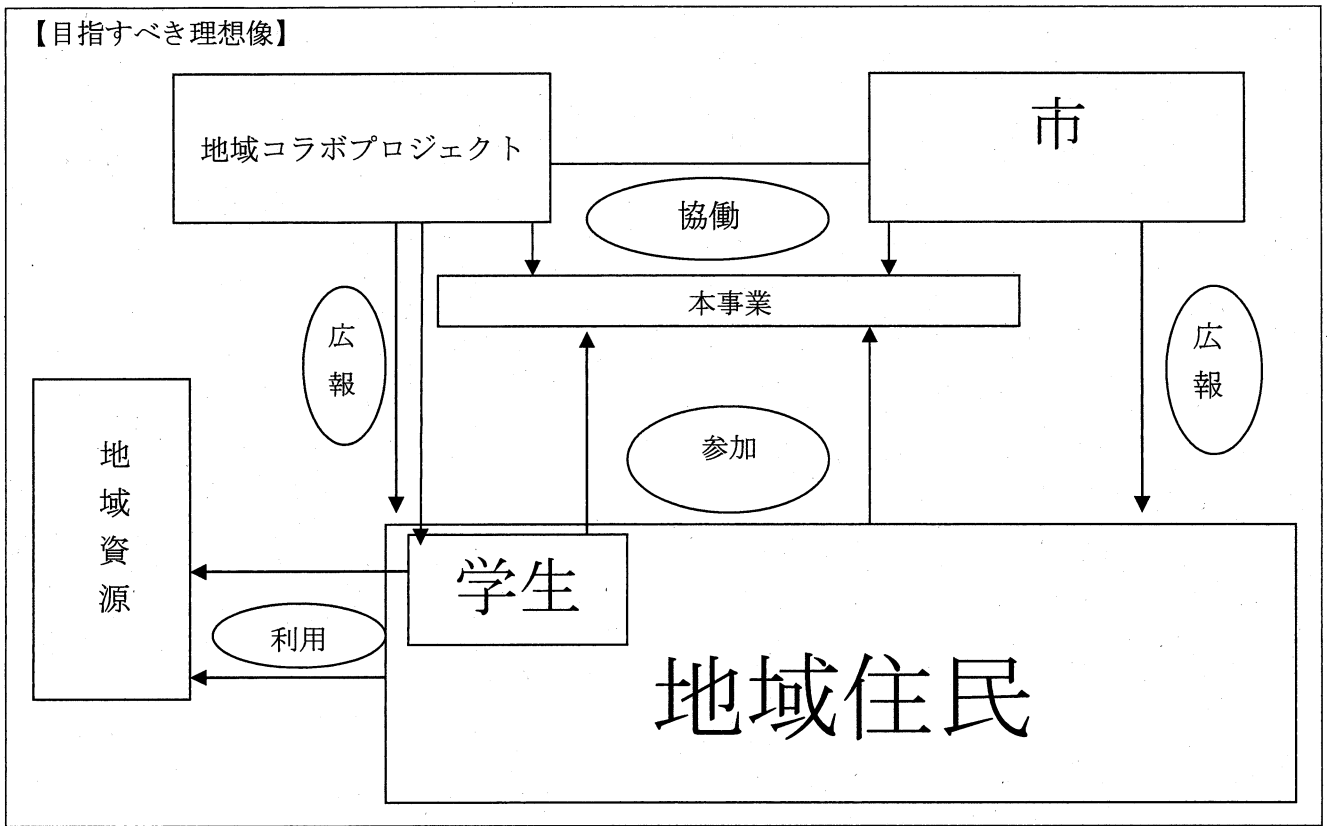
本事業では、主に草薙在住の学生と地域住民をターゲットとし、ターゲットに草薙の地域資源の中で創造性・先駆性のある写真を収めてもらい、その写真でコンテストを開催します。写真はあらかじめテーマを設定しておき、コンテストは委託期間中、複数回開催することを目指します。各コンテストの優秀作品は、カレンダーやピラなどの題材に取り上げるなどの特典を設けることで、特に学生の参加を促します。これによって市民に学生の活動を知らせることもでき、地域資源も広報できます。コンテストはメールで気軽に誰でも投稿できるようにし、また facebook ページも開設し、幅広い投票も受け入れる体制をとります。

そのために、事前に講師を招き勉強会を開講します。これは自由参加で、カメラの撮り方などをレクチャーし、実際にコンテストに参加してもらうなどの活動も行います。

優秀作品の写真をまとめた「草薙 wonderfool カレンダー」は、作品として魅力的な草薙ブランドを広報する情報ツールとして再利用でき、新たな情報発信の手段となります。これは、他の自治体にはない草薙の独自ブランドとなりうる素材であり、継続的な事業にもなりえます。

そして、来年度は販売していきけるようにします。

【目指すべき理想像】



団体名：地域コラボプロジェクト

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

【提案団体の果たす役割】

Facebook ページの立ち上げ並びに運営 投票イベントの開催	応募作品を facebook に掲示する また、投票の開示などを行う
広報活動	学生・地域住民・商店・メディアなど
参加者への対応	投稿された質問などへの返答
地域コラボプロジェクトの諸活動とのリンク	つながるくさなぎ みちくさなぎ 草薙マルシェなど
勉強会の開催	写真の撮り方などを講座として開き、一般参加も受け付けるひとつのイベントとする →本事業に興味を持たれる

【行政の果たす役割】

事業に対する助言	
特別審査員	今後の草薙地域の地区計画に熟知している職員などを招致し、コンテストにおいて採点していただく
草薙における情報の共有	
関係機関との調整	美術館などのスペース

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

【定量的目標】

- 複数回の開催
- カレンダー1000部の配布
- Facebook ページいいね！数 300 …… 現在の地域コラボプロジェクトのページ：250程度
- Facebook 投稿者数 50名以上
- マルシェなどの既存イベントにて、集客20%の上昇

【定性的目標】

- 学生はもちろん、子供会や図書館、美術館なども含めた草薙全体での盛り上がり
- 草薙住民(学生)が自分たちの地域資源を自覚できるようになる
- 地域コラボプロジェクトが様々なところと連携し、結びつきを強化する。また、各ステークホルダーが利益を享受しあえる →地域コラボプロジェクトのビジョンの実現
- 草薙ブランドの向上
- 行政と関係主体との結びつき強化

5. 事業計画

【事業の概要】

今回は、「まちと自然を結び、新たな地域資源を発掘して情報発信する活動」ということで、地域住民(学生)に草薙地域の地域資源を知ってもらい、実施してもらうことを目的とします。

具体的には、Facebook に専用のページを開き、地域住民(学生)に有度山や草薙川などの地域資源の中で斬新な行動を写真に収めていただくコンテストを開催します。優秀作品は、カレンダーやフライヤーの素材にすることなどで、積極的な住民の参加を期待します。

このコンテストを、委託期間中複数回行い、優秀作品を集めてカレンダーを作り配布します。このカレンダーを以て、コンテストに参加しようとしなかった人、同時に存在を知らなかった人に対しても草薙の地域資源を知ってもらうきっかけを与えることができます。

また、委託期間終了後も当事業を毎年開催し、そのたびにカレンダーを製作し、草薙カレンダーとして継続的に事業を実施します。

【コンテストの概要】

- ・参加者は、個人・団体を問いません。
- ・評価基準は、「意外性」「楽しそうか」「草薙の地域資源の情報発信力」「全体的な完成度」を予定しています。
- ・評価は「地域コラボプロジェクトメンバー」「市役所特別審査員」「facebook ページの投稿へのいいね！数」「イベントでの投票」などで行います。
- ・草薙の地域資源の中で行われていることが前提であり、少しでも地域資源が関わっていればOKということにします。ただし、草薙の情報発信になっていない場合、点数は上がりません。
- ・応募自体は写真を撮って指定したアドレスにメールするだけと、簡単なものにします。

【広報手段】

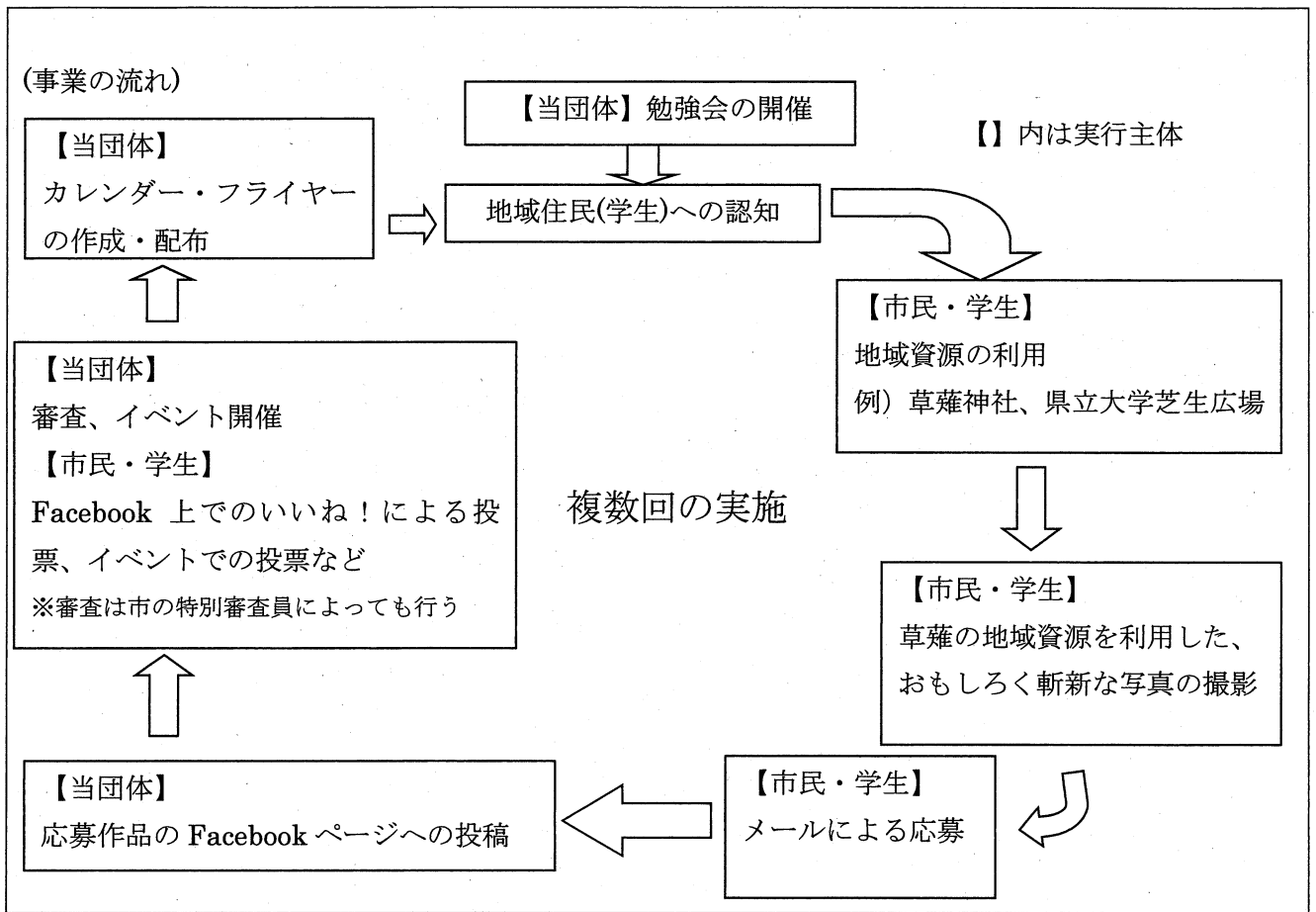
- ・コンテストを開催するごとに案内を発行し、学校や草薙商店街などに掲示していきます。
- ・また、回覧板を利用することで住民認知度を高めます。
- ・当プロジェクトの発行する、フリーペーパーつながるくさなぎや、草薙マルシェ、SNSを利用した広報も行います。
- ・第1回目のコンテストを開く前に、1つの企画として写真の撮り方などに関する勉強会を地域で開催します。ここで広報を行います。
- ・他にも、草薙の各主体と連動した広報を行っていく計画です。

【対策】

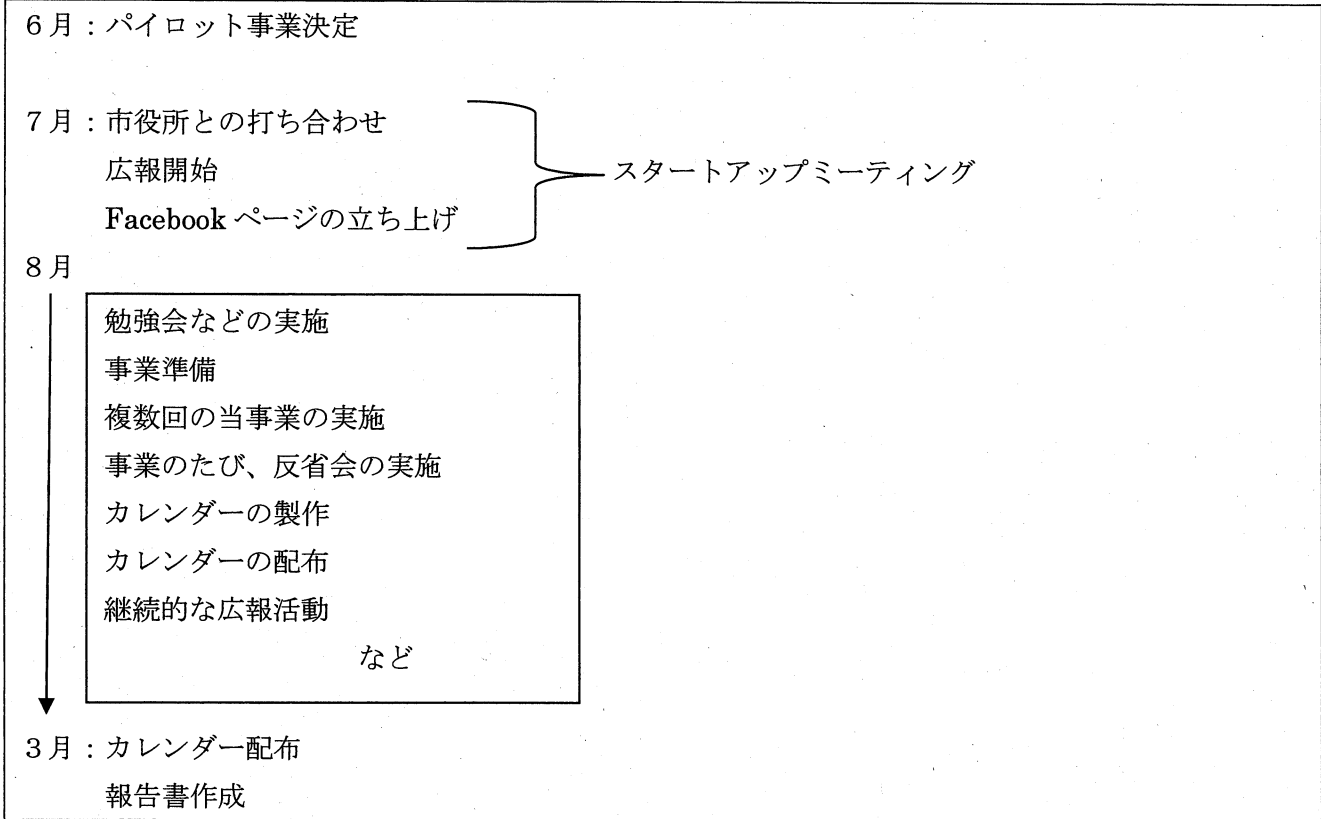
本事業では性格上、マナーに反するような行為をする参加者が出る可能性があります。

そのため、防止策として下記の注意などを設けることにします。

- ・いたずらや目的外の写真は参加できないこととする。
- ・組織票対策として、Facebook での評価のウエイトを軽くする。
- ・法に触れるような行為は、適切な機関に通報し場合によっては厳重な処分を設ける。



6. スケジュール



7. 実施体制および主要スタッフの経歴

【地域コラボプロジェクトとは】

地域コラボプロジェクトは、大学生の有志メンバーによる「誰もがそれぞれの立場を超えて、関わり、刺激し合うことができ、活気や学びが生まれる魅力的な地域、草薙」をビジョンに掲げて「学生と地域の人々がつながるきっかけと、お互いに価値を提供し合える関係を作る」活動をしています。

【草薙くいだおれ祭り】

学生をターゲットにしたイベント「草薙くいだおれ祭り」を開催し、テレビや新聞などのメディアにも取り上げていただき、成功を収めることができました。

現三年生：西・林田・石川・小林・星野

【みちくさなぎ】

静岡県内の学生と有志による、草薙地域のマップ製作を手伝いました。それぞれ「ぶらり学生の旅マップ」「みんなでの～んびり散策マップ」「ランチマップ」「樹木マップ」全4部。市長にも報告に行かせていただきました。

現三年生：西・石川・小林

【つながるくさなぎ】

地域コラボプロジェクトが継続的に発行している、草薙地域の情報誌です。昨年度は4回、一昨年度には2回発行しました。草薙の店舗やイベントの広報として、一定の知名度を挙げています。イラストレーターを使用した製作作業も当団体メンバーによって行っています。

現三年生：西・林田・石川・小林・星野 現二年生：荒岡・神村・斎藤・相良・瀬戸

【夏祭り(よいとこ祭り)】

草薙駅前前で毎年行われている、夏の風物詩です。昨年は地域コラボプロジェクトが主催し、県立大学の団体の招致や、キャンドルナイトなどで学生と地域住民の交流を図りました。

現三年生：西・林田・石川・小林・星野 現二年生：荒岡・神村・斎藤・相良・瀬戸

【職場体験】

草薙に住む学生を対象に、アルバイトをやる前の段階として、実際に職場で働いたらどんな感じなのかを体験してもらうための企画を、草薙の店舗である bar my にて行いました。

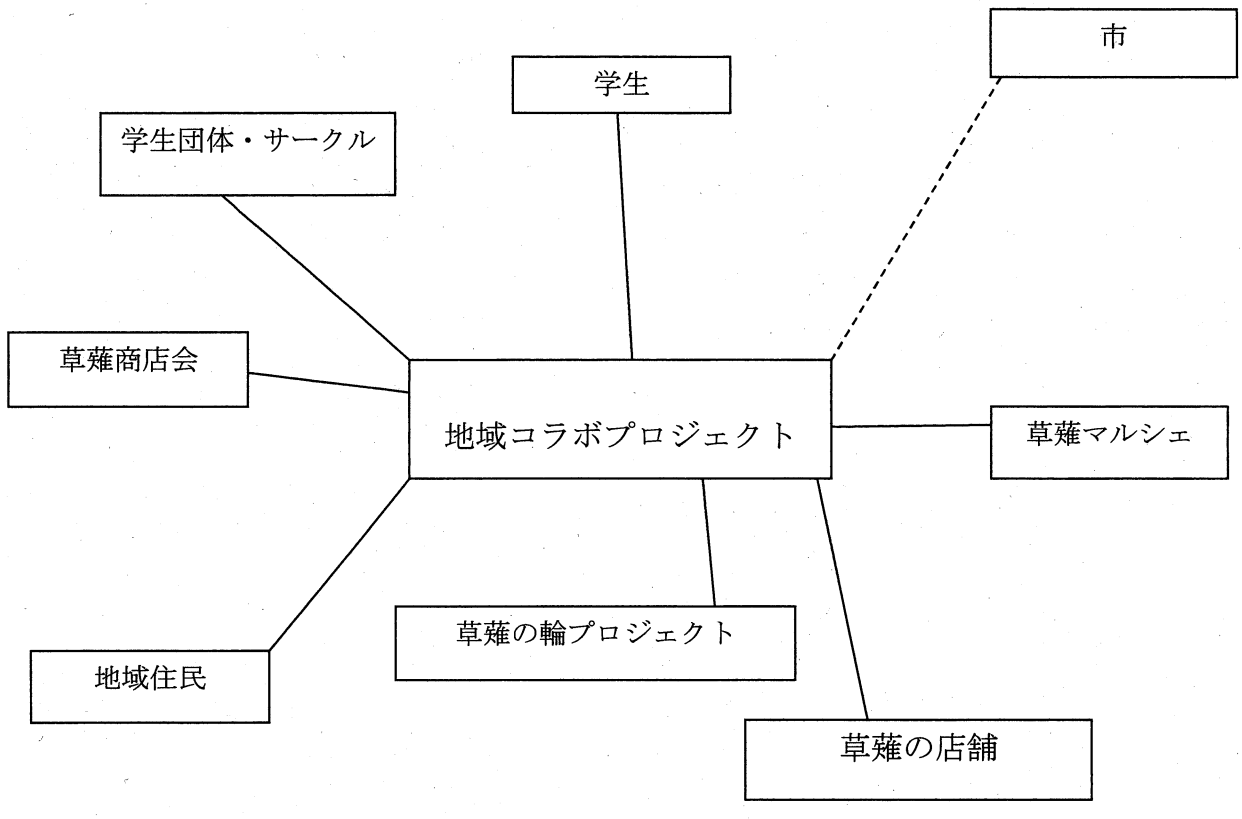
現三年生：小林

【草薙マルシェ】

毎月、最終日曜日にて「なすべえ」駐車場にて行われる朝市のようなもの。地域コラボプロジェクトでも、カレー工房ライクのカレーの販売や、学生団体の招致などを行っています。

現二年生：神村

【これまでの活動での関わった団体】



団体名：地域コラボプロジェクト

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

地域コラボプロジェクトは、創立3年という短い団体ではありますがその中で「草薙と学生を結ぶ役割」を果たしてきました。大学内では草薙地域のみならずフォーカスを当てている唯一の団体であり、大学外でも、大学生に情報を届ける際の数少ないつなぎ役として頼りにされています。これは、草薙の中でプロジェクトが一定の知名度を得ていることの証左となります。また、今回の事業趣旨である「草薙ブランドをさらに向上させる活動」は、草薙という地で活動する我が団体にとっても共感しやすいものがあります。

今回、提案させていただく当事業は、おそらくこの自治体も行っていない独自性のある事業であるという自負もあります。地域も行政も巻き込んで1つになった草薙という絵を、私たちは見たいと思っています。

これまで私たちが培ってきた草薙でのつながり、磨いてきた様々な経験、そして学生団体だからこそ可能なこと。それらすべてをもって本事業をやりきってみせます。

協働パイロット事業 (H26) 見積書

団体名： 地域コラボプロジェクト

企画のタイトル：草薙 wonderfool カレンダー

項目	金額	説明
カレンダー印刷費	59,700 円	19,900 × 3回
フライヤー印刷費	30,000 円	10,000 × 3回
写真等プリント費	20,000 円	
製作費	10,000 円	
講師料	25,000 円	
消耗品費	10,000 円	
通信運搬費	15,000 円	5,000 × 3回
間接経費	33,940 円	上記(169,700 円) × 0.2
小計 A	203,640 円	
消費税 B = A × 0.08	16,291 円	203,640 円 × 0.08 = 16,291.2 (消費税切り捨て)
合計 A + B	219,931 円	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途